

火力發電所の建設

俄然暗礁に乗上ぐ

引込線敷地、地主側が非協力

勿来市の火力発電所は、今春米穂田町佐藤の一角に建設され既に二分の工事が出来上り廻るも、この工事の裏面で、地主側と協力委員側で交渉は進みられたが、地主側で折衝が重ねられているが、施設を目前に迫つて、心配の鉄道引込線用地が立出で、場事業と機械の運搬が出来上り廻るも、さうの工場敷地約三万五千坪は水田一反歩四三万円、畠地四七万円、野地原地三万円で手打ちとなつた。今度の引込線はこの並約二万五千坪の買取問題は十数回に亘つて地主側と協力委員側で交渉は進みられたが、地主側で同一價では心じられると頑張り

妥結の模様もなく行き惱んでいる。どうして、愚直についているかの内容を解説してみよう。

(K) 張さすがの協力委員會も手を焼いている始末。こうした突然の馬鹿者オソレと呑のみで自下

返つては敢えて相場外とは思われないではないが、大多数

の人々は走り馬鹿價だと呆れ

したが地主側では七十万円以下で

は夢も譲られぬという強硬な主張

は見ても適正価額などの意見が

筋ではない、が、大多数

の人は走り馬鹿價だと呆れ

れば肯せぬと主張している現

迷地主は僅か三、四名で他は

練つている表情だ。抑も火力発電

所設當時は大部分の地主は異口

に之を承認して止まない。

辺で妥結すべきだと腰を折つて

返つては敢えて相場外とは思われないではないが、大多数

の人々は走り馬鹿價だと呆れ

れば肯せぬと主張している現

迷地主は僅か三、四名で他は

練つている表情だ。抑も火力発電

所設當時は大部分の地主は異口

に之を承認して止まない。

辺で妥結すべきだと腰を折つて

返つては敢えて相場外とは思われないではないが、大多数

